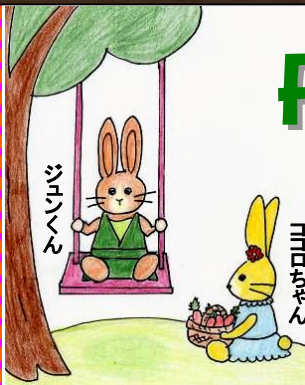




丹後地域 リハビリ通信

第 13 号

～うさぎのブランコ～

編集／発行

丹後地域リハビリテーション支援センター
 (公益財団法人 丹後中央病院リハビリテーション科内)
 〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷 158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302

e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com<http://www.tangohp.com/tangoshien.html>

ホームページより PDF 形式でご覧いただく
 ことができます

平成 25 年度
目 標

リハビリで作る地域づくり ～学びと繋がりで、あなたの周りを笑顔に！～

行動目標

- ①セラピスト連絡会主催の関係者スキルアップに向けた研修会を実施する
(協働開催・講師担当等)
- ②リハビリ訪問相談・指導利用後アンケートの実施
- ③リハ資源が少ない市町に対するリハビリの体制づくりを支援
(伊根町継続と他市町への介入を予定)

セラピスト連絡会で検討しています

丹後圏域には平成 25 年 4 月現在 109 名のセラピスト(理学療法士:71 名 作業療法士:28 名 言語聴覚療法士:9 名)が働いています。

たくさんのセラピストの力をかりて地域のリハビリをもりあげようと、各施設の代表者でセラピスト連絡会を立ち上げ、研修会・事例検討会・お気軽サミットなどを中心に企画の検討、開催当日の運営を行っています。



看護職・介護職ステップアップ研修を開催

セラピスト連絡会メンバーが講師として「NG 移乗法」の寸劇を行います。

今年度はなるべく多くの方に参加頂きたいと、2 日間同じ内容で開催することになりました。

是非ご参加ください。

実施要領・申し込み用紙はホームページから
ダウンロードできます

9/14 締切

平成25年度 第1回事例検討会開催の報告

高次脳機能障害をテーマに事例検討会を行いました。

40 名の方に参加いただきました。

日時：平成 25 年 7 月 30 日（火曜日）

京都府における高次脳機能障害対策の動向について

報告者：京都府リハビリテーション支援センター

高次脳機能障害支援コーディネーター 大戸 淳志氏

事例紹介「身体障害を伴わない高次脳機能障害当事者と家族の生活状況と課題」

報告者：障害者支援センターかもめ 主任生活相談員 寺田 悟氏

意見交換「丹後地域における高次脳機能障害者の支援体制について考えよう」

助言者：中丹脳機能障害者と家族の会「さくら」 会長 高橋 宏氏



高次脳機能障害のおもな症状

注 意 障 害

症 状

集中できないことで、ミスが増えたり、物事がはかどりにくくなるなどの症状がみられます。



記 憶 障 害

症 状

新しい出来事や約束を覚えたり、それをずっと保持しておくことができにくくなる症状がみられます。



遂行機能障害

症 状

目的を持って計画し、段取りをつけて処理していくような一連の活動ができにくくなる症状がみられます。



社会的行動障害

症 状

依存的になる、感情のコントロールがうまくできない、欲求が抑えられない、状況に適した行動がとれないなどの症状がみられます。



「脳損傷・高次脳機能障害の理解と支援のために」京都府発行パンフレットより

事例報告

高次脳機能障害の一事例の発症後の経過を報告して頂き、生活状況や支援体制における課題を提起していただきました。

意見交換

2 つの視点で、現状と課題、今後の支援の在り方について意見交換を行いました。

◇ 評価できていますか？

病院では…身体的な障害に目が行きやすい
生活面、職業面の評価には限りがある
福祉では…問題行動に目が行く
かと経験で動いており評価ができていない

医学的リハビリ

生活訓練

職業訓練

医療と福祉の連携
が必要

の流れが切れている

評価ツールとして**脳外傷者の認知－行動障害尺度 (TBI-31)**

神奈川リハビリテーション病院の
ホームページからダウンロードで
きます

◇ 集える場所がありますか？

障害者生活支援センターのサロン
対象が「認知症」「精神障害者」となっているも
家族のつどい
他の地域と共同で

社会資源を限って
はいけない

高次脳機能障害者と家族のつどい

平成 25 年 9 月 21 日 (土)

13:30～16:00 (13:15 集合)

障害者生活支援センターかもめ

対象：宮津市、京丹後市、与謝野町、
伊根町にお住いの当事者

お問い合わせは

障害者生活支援センターかもめ まで
電話：0772-20-2011



家族会に来ることによっていろいろな情報がわかります。質の高い相談ができる場所の必要性を感じています。
相談窓口が充実しても、家族が閉じこもってしまったらどうしようもない。家族が動けるようにすることが大切です。

高次脳機能障害についても相談できます

京都府リハビリテーション支援センター
075-221-2611 (相談専用電話)

<電話相談>

月曜日 午後 1 時～4 時

火～木曜日 午後 9 時～12 時

丹後地域リハビリテーション支援センター
リハビリ相談・訪問指導

お問い合わせははこちらまで

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302

e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com

今年度の事例検討会予定

- 「生活期を支える地域ケアとリハビリテーション
～事例検討で考える 介護・看護・リハ 多職種連携～(仮)」
日時:平成 25 年 11 月 10 日(日) 午前 10 時～午後 3 時
会場:公益財団法人 丹後中央病院 ふたばホール
講師:小林 修先生
(よこた福祉会テイサービスセンターにここにこ 理学療法士)
内容:講演とグループワーク(予定)
- 「テイサービスのリハビリ(仮)」
日時:平成 25 年 12 月上旬予定
会場:調整中
内容:事例を通しての事業所の取組み紹介、意見交換(予定)
- 伊根町事例検討会「移乗(仮)」
日時:調整中
会場:伊根テイサービスセンター
内容:事例報告・意見交換(予定)



昨年度多数の応募を頂き好評でした、リハビリ川柳を今年度も募集します。多くの方から応募頂くため今年度は一人一作品に限り募集します。詳細は 10 月頃に各事業所に配布します案内をご覧ください。

今年度も入賞作品を決めお気軽サミット内(2 月または 3 月開催予定)で発表する予定です。

昨年度応募頂きましたリハビリ川柳を少しづつうさぎのプランコ内で紹介します。各ページの **ここ** をみてください。

